



区政のお知らせ

足立区役所

行 50
 住 1ノ
 区 足立区
 都 東京都
 北 島十
 編 務課 務係
 総 務課 務係
 後 草 044015
 電 話 31115
 足 立 31115
 東 京 都 足 立 区 千 住 2ノ 55
 巧 文 社 印 刷 所 (織 田)
 電 話 足 立 3406
 3767



新学年を迎えた校庭に、昨日入学したばかりの一年生が、わあーと飛び出して来た。名前を大きく書いたハンカチと、黄色や赤のリボンを胸に春の陽を一杯に受けたことも達の笑顔は、底抜けに明るく晴ればれしい、戦後年毎に回復する国力を表わすかのようになり、入学生身のまわりが、体格が、戦前のそれに近づいてきた。そして今年、その無邪気な表情の中に、敗戦の暗いかげなどは少しも見られぬほど、豊かな情操さえ汲みとれるほどになった。

「一年生」へのほのかな郷愁を、我が子の姿の中に感じながら、目を細めて見守る父兄の視線などには頓着なく、上級生のすべつたりころんだりする球投げの恰好が、おかしくつてたまらないといった笑顔の上を、校舎のグルリに咲いた桜の花びらが、ひらひらと舞っていた。

(写真梅島第一小学校分校にて撮す)

(註)
 本年度の区立小学校入学児童数は六、九三一名で、昨年にくらべて約一、七〇〇名の増加を示している。

總額三億六千万圓

第二回区議會で可決

昭和28年度予算成立

- 本年第二回足立区議会(定例会)は去る三月二十六、二十七日の両日に行われ、総額三億六千万圓にのぼる昭和二十八年度予算案をはじめ、十六議案を上提して区議会議事堂で開かれた。なお議案は次の通り。
- 第1 寄附受領について
区職員共済組合が職員の福利厚生施設として建築した職員会館の寄附の申出が同組合からあつたのでこれを区の財産として受領した
- 第2 区有財産の無償譲渡について
条件附寄附により区有財産として受領した第六出張所の検印所を寄附条件により地元民に無償払下げした
- 第3 一時借入金借入れについて
二十八年度予算執行に当り歳計金の手持が少ないので借入れる場合の最高限度額を四千万圓と定めた
- 第4 東京都足立区立小学校分校設置について
梅島第一小学校分校を設置した
- 第5 東京都足立区立小学校分校廃止について
千寿第五小学校分校を廃止した
- 第6 東京都足立区立小学校設置について
前項の分校を改ためて彌生小学校(独立校)として設置した
- 第7 東京都足立区立中学校設置について
江南中学校を新設した
- 第8 東京都足立区営運動場条例の一部を改正する条例
右条例の第一条に足立区営千住大川町運動場を加えた
- 第9 東京都足立区営学校設備使用条例の一部を改正する条例
別項の通り使用料が改正した
- 第10 東京都足立区立幼稚園条例の一部を改正する条例
別項の通り改正した
- 第11 東京都足立区農業委員会委員の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
右条例第二条中「月額七〇〇〇円」を「月額千円」に改める

昭和二十八年度足立区才入才出予算

第12 昭和二十八年度足立区才入才出予算

第13 昭和二十八年度足立区才入才出予算

第14 昭和二十八年度足立区才入才出追加予算

第15 特別区道路線の認定について

第16 寄附受領について
区立千寿第四小学校講堂建設協賛会長中村吉松氏から同講堂建設費の一部として百二十拾万圓の寄附申請があつたのでこれを受領した。

科目	予算額
歳入の部	
都支出金	七、〇三三、二二六
寄附金	三、〇〇〇、〇〇〇
緑越金	七、九九〇、七二一
歳入合計	八、〇三三、九四七
歳出の部	
教育費	六、七六九、一五〇
民生事業費	一、〇〇〇、〇〇〇
産業経済費	一、五〇〇、〇〇〇
選挙費	一、三三三、八五〇
歳出合計	八、〇〇三、〇〇〇

昭和二十八年度 東京都足立区歳入歳出予算

昭和二十八年度における本区の予算は、三月二十六日開会の第二回足立区議会定例会に、第二十二号議案として提案され、審議ののち可決されたものであります。その編成につきましては、本区の財政需要額及び財政収入額とも、都において決定をみぬため、多くの懸案事項及び新規重要事業の完結を目指しながらも、その半ば以上を削減しなければならなかつたことは、遺憾とするところであります。しかしながら、都の措置が

の執行に当つても、細心この点に留意し、歳入の増収に努力するとともに、歳出においては、消耗的経費を節約して資源的経費にむけ、最少の経費をもつて最大の効果を挙げ

るべく關心し、健全財政の堅持に努める方針であります。区民各位においても、なお一層の御協力をお願いする次第であります。

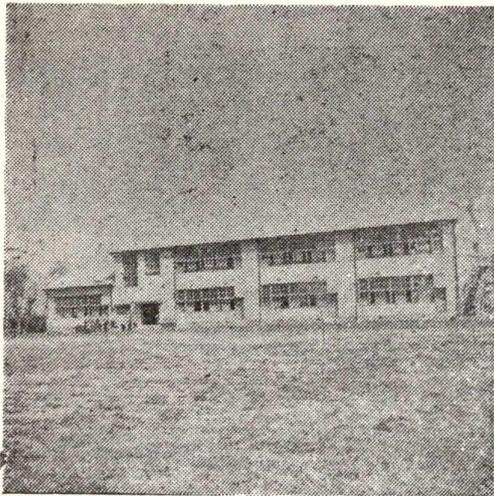
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増(△)減(□)
歳入の部			
都支出金	七、〇三三、二二六	七、〇三三、二二六	△
寄附金	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	△
緑越金	七、九九〇、七二一	七、九九〇、七二一	△
歳入合計	八、〇三三、九四七	八、〇三三、九四七	△
歳出の部			
教育費	六、七六九、一五〇	六、七六九、一五〇	△
民生事業費	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	△
産業経済費	一、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	△
選挙費	一、三三三、八五〇	一、三三三、八五〇	△
歳出合計	八、〇〇三、〇〇〇	八、〇〇三、〇〇〇	△

教育行政の充實示す

分校も新設二校が開校

二部授業の解消、通学の便利等による教育の充実に大きな力を注いでいる区では、今回更に別項の通り新設学校二、分校一を設置新学期から授業を開始した。

江南中學校 南宮城町三六
区立十六中までは一連の番号により設置されてきたが、学校数の増加に伴い種々不便がでてきたので、従来と異つた名称を附けたもので校長には鈴木政雄氏が就任した。
教室数一八教室・生徒数一三八〇名
彌生小學校 千住彌生町五一
はじめ千住第五小學校の分校(写真左)



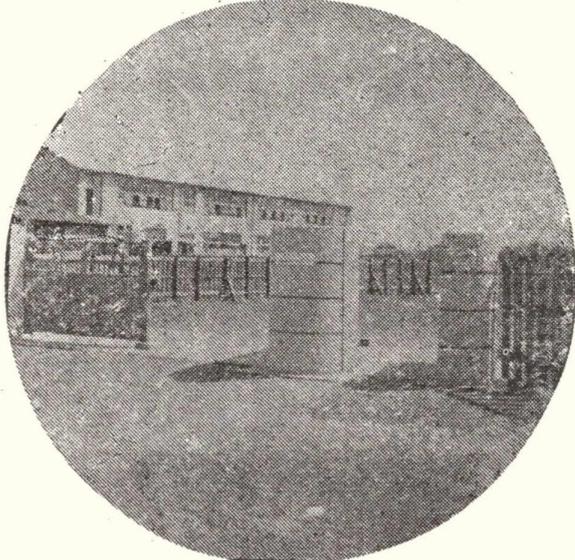
として設置されたものだが、通学区域内の児童数の増加に伴い彌生小學校として独立したもので生徒数五七七名である。校長一宮川竜治・教室数十教室(写真下)

梅島第一小學校分校 東島根町一八〇〇
四ツ家町一花畑町、小右衛門町一東島根町を結ぶアスファルト道路が、田園の緑の中に交差する点に建てられたおれんじ色の校舎が同校である。
教室数は六教室、生徒数二四〇名、梅島第一小學校の新井四郎氏が主任に就任した。

堤北から埼玉、千葉縣にかかるとの農村地帯を主な対象として都心と異なる特殊な発達をみってきた区内中小企業は、現在城北における最大の商業地帯を形成しておりその動きも活潑であるが、区では更にこれら中小企業の育成振興を図るため、区長が中心となる

中小企業の発展促進 都民銀行設置きまる

つて区議会及び各関係者と協力昨年より、都民銀行の区内設置につき、関係方面と交渉を続けていたが、このほどその設置が本極りとなり、今月末には開店の運びに至つた場所は千住仲町一番地で、区内商店街のほゞ中心地に位置するので利用し易く、区中小企業者の金融難打開に大きな役目を果たしてくれるものと各方面から期待されている。



學校設備の

使用料改正

別項の通り去る第二回区議会で學校設備の使用料が次の通り改正された。(註)内は夜間使用料

- 雨天体操場 四百円(六百円)
- 教室 二百円(二百円)
- 校庭 二百円(四百円)
- お映画等のため特別の設備を使用するときはそれぞれ別

に実費を徴収する、昼夜の別は日没を境とする。

幼稚園の入園・保育料

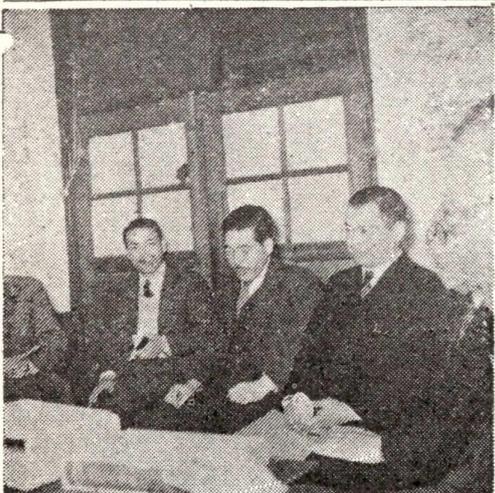
この四月一日から区立幼稚園の入園料、保育料が改正された。(註)内は旧料金

- 入園料 二百円(二百円)
- 保育料 四百円(三百円)

区史編さん着々すすむ 五月下旬に史料展開催

昨年十一月から発足した足立区史編纂委員会では、その後古老を閉む座談会を開催したり、郷土史研究家等の協力を得て史実の調査や資料の蒐集に努めているが更に選挙その他の事情により一時延期を余儀なくされていた「足立区史料展」も五月末に開催すべく準備をすすめている。

なほ既報の通り、戦災のため区にまつた編纂史料は、その大半が焼失又は散逸してしまつたため、史料展を開くにもこれから資料を蒐集するのが大仕事とされており、編纂委員会では、詳細な史料(古文書、土器、その他)でも家庭にあるものは積極的に出品されるよう区民にのぞんでゐる。



写真は一へんさん打合会